

財務指標の例⑱

労働生産性**2018年度の労働生産性（全産業・全規模）は730万円**

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円～1億円	1億円～10億円	10億円以上
製造業	485万円	570万円	872万円	1,367万円
非製造業	494万円	566万円	761万円	1,394万円

(1) 財務指標の説明

労働生産性とは、従業員一人当たりの付加価値額を言い、付加価値額を従業員数で除したものです。

労働の効率性を計る尺度であり、労働生産性が高い場合は、投入された労働力が効率的に利用されていると言えます。

$$\text{労働生産性(円)} = \frac{\text{付加価値額}^{**}}{\text{従業員数}} \times 100$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I	売上高
II	売上原価 売上総利益
III	販管費 営業利益
IV	営業外損益 経常利益
V	特別損益 税引前当期純利益
VI	法人税等 当期純利益

* 2006年度調査以前：
人件費＝役員給与＋従業員給与（従業員賞与を含む）＋福利厚生費
2007年度調査以降：
人件費＝役員給与＋役員賞与＋従業員給与＋従業員賞与＋福利厚生費

** 付加価値額＝人件費*＋支払利息等＋動産・不動産賃借料＋租税公課＋営業純益***

*** 営業純益＝営業利益－支払利息等

(2) グラフで見る最近の動き

2018年度の製造業、非製造業を見ると、製造業、非製造業ともに付加価値額の対前年度比増加率が従業員数の増加率を下回ったことから、全産業で見た労働生産性は前年度比で下降しています。

